

脳のはなし



物忘れ 認知症

アルツハイマー病

が気になりだしたら

第2回

検査で見える!?

認知症の原因「脳のごみ」

前回は、脳の中にたまっていく「ごみ」と呼ばれる不要な物質が、物忘れや認知症の原因になるということをお話ししました。脳のごみにはいくつ種類がありますが、その代表が「アミロイドβ」と呼ばれるタンパク質です。本来は脳の働きを助ける成分ですが、過剰にたまってしま

なり、認知症においては「アミロイドβ」や「アミロイドβ」という検査で、脳のごみであるアミロイドβがどこにどれくらいたまっているのかを見ることができるようになり、アルツハイマー病の早期発見にも役立っています。他にも、脳脊髄液を採取して、ごみを測る方法

もあります。

「最近物忘れが多くて・・・」と悩んでいる方にとって、とても興味深い検査ですが、現在これらの検査は、専門の病院で医師の診察を受け、検査が必要と診断された方が受けることができます。あなたやご家族など気になる方がいらっしゃったら、かかりつけ医に相談してみてください。

これまで「アミロイドβ」というごみがどのようにたまっているのか検査で調べることができなかったのですが、最近、脳のごみが見える検査が登場したのです。そのひとつがPET検査です。PET検査といえは、がん

を見つける検査として有名ですが、最近では他の病気の原因を見つけることもできるよ

うに

さらに今、注目されているのが血液で調べる方法です。アメリカではすでに体制が整い、血液検査

山野嘉久 やまの よしひさ

聖マリアンナ医科大学
脳神経内科 教授・医学博士

脳神経内科医として、ウイルスによる脳や神経の病気を長年研究し、診療ガイドラインの作成にも携わるなど、診療と研究の両面で活動している。日常生活に役立つ「脳の健康のヒント」をお届けします。



で脳のごみの量を推定できるようになっています。採血だけでわかるこの方法は体への負担が少なく、今後、日本でも使えるようになることが期待されています。将来的には、健診やかかりつけ医での採血のついでに、脳の健康状態を調べられる日が来るかもしれません。そうなれば、病気の早期発見だけでなく、日常的な脳のメンテナンスにも役立つでしょう。

このように、かつては見えなかった脳のごみが少しずつ「見える存在」へと変わってくるなど、認知症の早期発見や予防の研究は大きく進もうとしています。次回は、認知症の治療、たまってしまった脳のごみを取り除くことができる薬について、最新の話題をわかりやすくお届けします。どうぞご期待ください。